

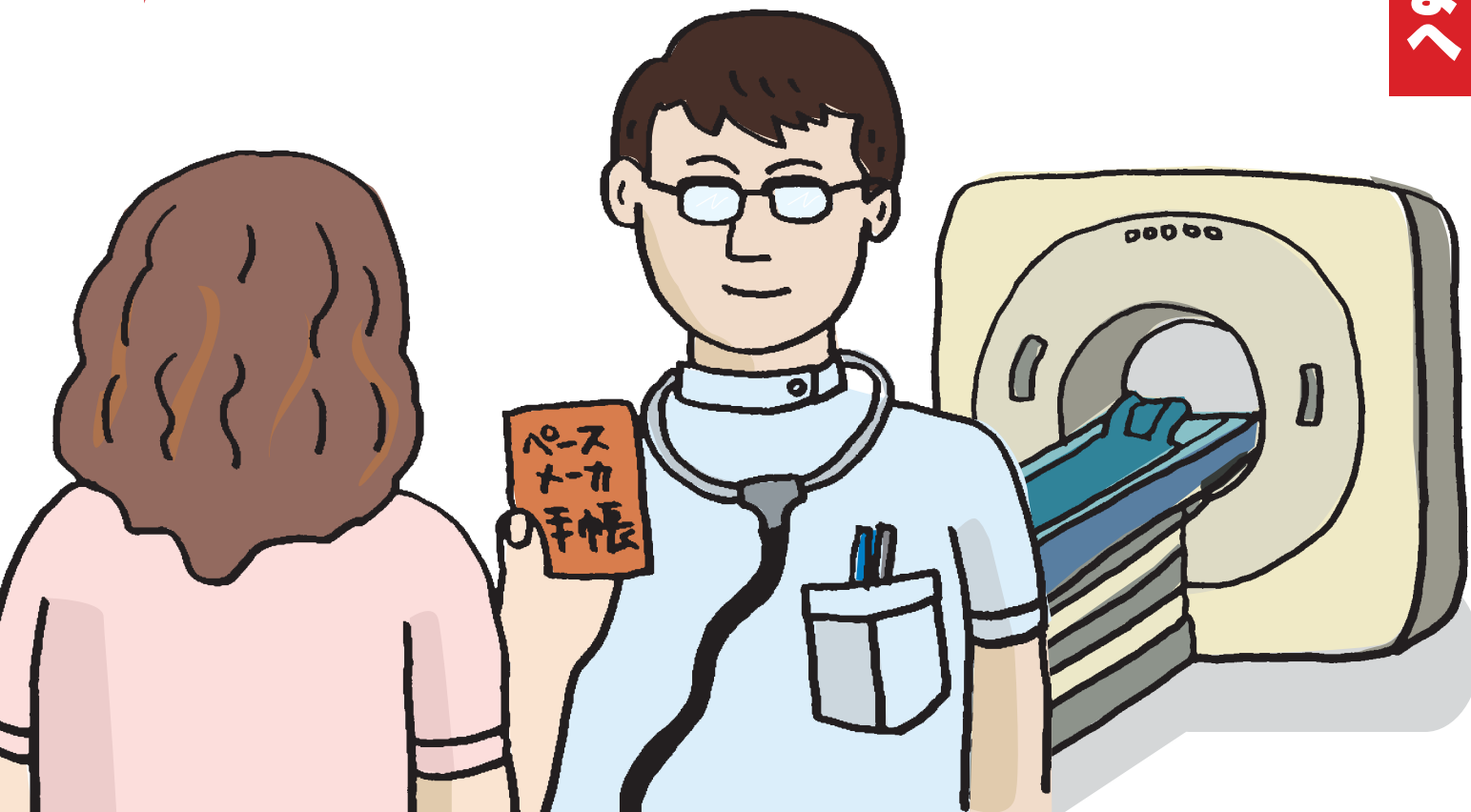
X線CT検査等を受ける前に 担当の先生に、必ず一言。

ペースメーカーもしくはICDの本体にX線束が連続的に照射されると、
本体の作動に影響をおよぼすことがあります。

病院でX線CT検査等を受ける場合には、事前にご本人が、またはご家族から
ペースメーカーやICDを植え込んでいることを担当の先生に申し出てください。

ペースメーカー、
ICD(植込み型除細動器)を
使用しています！

ペースメーカー、ICDを
ご使用のみなさまへ
(植込み型除細動器)



ペースメーカーおよびICD(植込み型除細動器)に影響をおよぼす機器・場所にご注意ください。

【影響をおよぼす機器】

誘導型溶接機、レーザーアンテナ、放送所アンテナ、中継基地、不良電気器具、アーク溶接機、スポット溶接機、低周波治療器、高周波治療器、発電設備、大型モーター、高電圧設備、露出したエンジン、磁気治療器(貼付用磁気治療器、磁気ネックレス、磁気マット、磁気枕等)、体脂肪計、筋力増強用の電気機器(EMS)、高出力トランシーバー、強力な磁場の発生する機器・場所など

【使い方によって影響をおよぼすと思われる機器】

IH調理器、IH炊飯器、電気のごきり、ドリル、研磨機、火花を散らすモーター、携帯電話、家庭用コードレスフォン、PHS、小型無線機、金属探知器、EAS機器(盗難防止装置等)、RFID(電子タグ)機器、全自動麻雀卓など

3~4月に一度は定期検診を受けましょう!
(担当の先生の指示に従ってください)

ペースメーカー協議会

日本医用機器工業会内 連絡先 03(3816)5575

<http://www.pacemaker.com.co.jp/index.htm>

看護師および放射線技師の方々へ

ペースメーカー、ICD（植込み型除細動器）をご使用の患者さんがX線CT検査を受ける場合には、以下のことにご注意ください。

■ペースメーカーを使用されている患者さんには 本体上に5秒以上X線を連続照射しない。

ペースメーカー本体にX線を連続的に照射すると、その間、脈が飛ぶような感覚を患者さんが感じることがあります。

ペースメーカー本体上にはX線を5秒以上連続照射しないようにしてください。やむを得ず5秒以上照射する場合には、患者さんに“両腕挙上”をさせるなどしてペースメーカー位置を照射部分か

らざらすことができないか検討する、もしくは検査中、競合ペーシングをしない状態で固定ペーシングモードに設定してください。

(注)メドトロニックInSync8040とTHERA-i(セラ-i*)シリーズは、原則として本体上を通過するX線CT検査は行わないようお願いします。詳細は各々2005年3月と12月に発行の日本メドトロニック株式会社「Technical Information」をご参照願います。

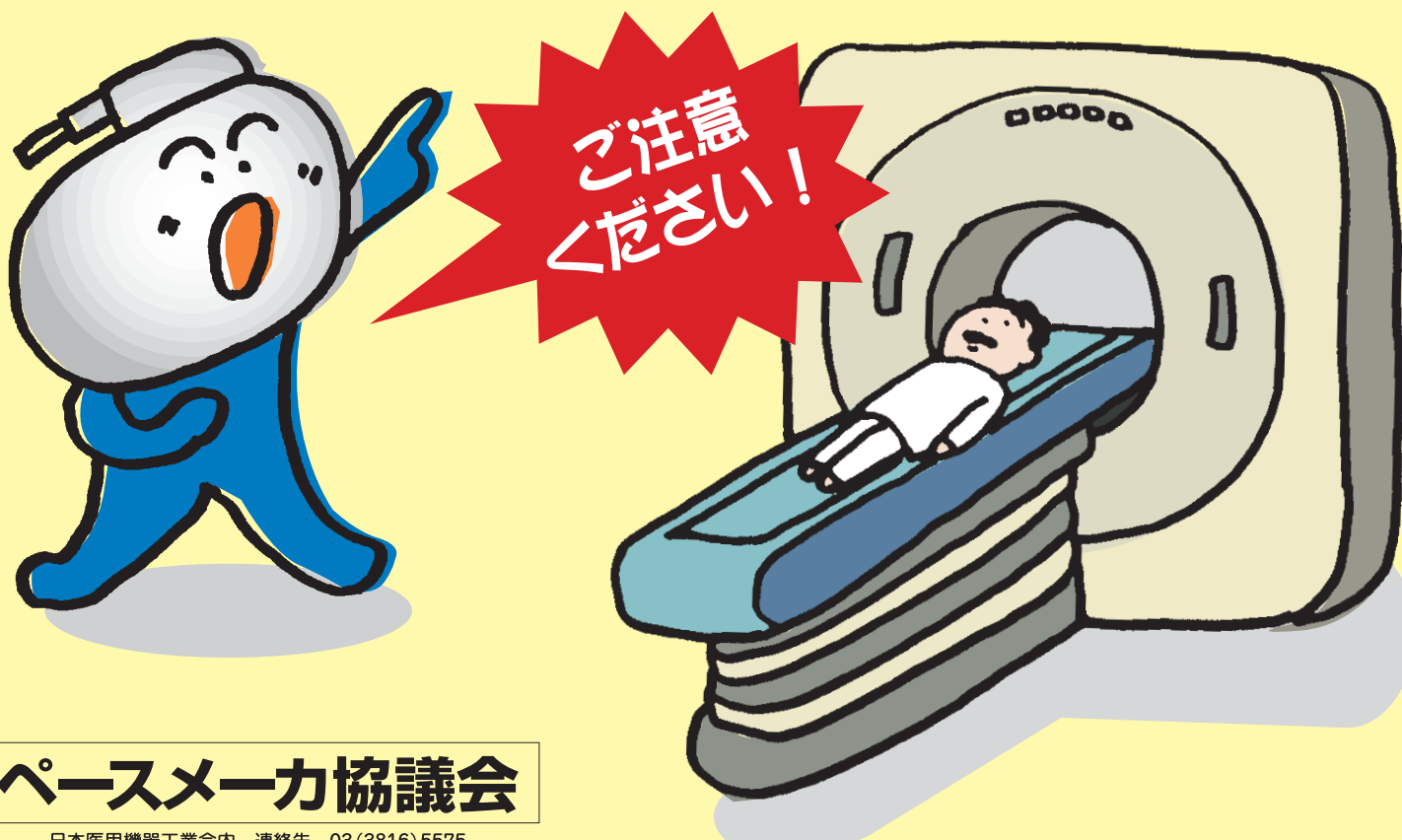
*セラDR-i,セラSR-i,セラVDD-i,セラD-i,セラS-i

■ICD（植込み型除細動器）を使用されている患者さんには 本体上にX線を照射しない。

ICD本体にX線を連続的に照射すると、不適切な除細動治療が行われることがあります。

ICD本体上には原則としてX線照射を行わないでください。やむを得ず照射する場合には、患

者さんに“両腕挙上”をさせるなどしてICD位置を照射部分からざらすことができないか検討する、もしくは検査中、頻拍検出機能をオフに設定してください。



ペースメーカー協議会

日本医用機器工業会内 連絡先 03(3816)5575

<http://www.pacemakercom.co.jp/index.htm>

詳細は、医薬品・医療機器等安全性情報No.213及びNo.221を参照してください。